

# 仙台総合ペット専門学校 「学校関係者評価報告書」

学校法人菅原学園 仙台総合ペット専門学校では、本校規程に基づき、令和4年9月29日（木）に、学校関係者評価委員会を実施いたしました。以下にその内容についてご報告いたします。

今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、各委員からのご意見やご指導等を真摯に受け止め、教職員一同努力してまいります。

開催日：令和4年9月29日（木）

場所：仙台総合ペット専門学校

参加委員：赤澤 暁昌（一般社団法人 全国ペット協会 事務局長）

（敬称略） 荻原 輝紀（大町ペットクリニック 院長）

渡辺 和枝（ワンダーランド 代表）

渡邊 圭（有限会社ヨネヤマプランテーション ペットエコ仙台）

磯村 直樹（LOVE WALK オーナー）

同席者：浅野 悟（教頭）

木村 拓史（動物衛生看護科 教員）

高橋 和也（トリマー・キャット科 教員）

菅原 学（飼育管理科 科長）

千葉 雅司（PRO DOG TRAINER・ドッグトレーナー科 科長）

# 仙台総合ペット専門学校 学校関係者評価委員会 報告 〈自己評価結果との対応関係〉

## (1) 教育理念・目標

### 〈評価及び意見〉

学校が定める教育目標・育成人材像に加え、専門的な知識・技術をより高めるための重点目標を各科で設定し、計画的な指導に取り組んだ。このことについて今後も継続的な取り組みをするよう意見をいただいた。また、就職活動だけでなく学校生活全般で学校と保護者との連携をより一層、強めていくよう意見があった。

### 〈今後の取組等〉

新型コロナウイルスの影響で「保護者向け就職セミナー」を実施することが出来なかった為、WEB等を使用した新たな取り組みの必要性を感じる。引き続き学校の教育活動とペット業界での就職について、ご家族の協力の必要性の説明を行う。

## (2) 学校運営

### 〈評価及び意見〉

運営方針や意思決定機能は学園規定において明確にされ、有効に機能している。また、各種制度、諸規程に関しても整備がされており、適切に改正が行われている。

教育活動に関する情報もホームページで公開されており、学校の取組みについても理解できると評価をいただいた。

### 〈今後の取組等〉

SNS (LINE@、twitter、Instagram、ブログ) を利用した情報発信に引き続き力を入れ、より多くの方に学校の教育活動の現状、成果について知っていただくよう取組む。

情報システム化等による業務の効率化については、まだまだ遅れている部分が多く見られるため継続的な改善が必要になってくる。

## (3) 教育活動

### 〈評価及び意見〉

ペットショップや動物病院での現場実習は実際の働き方のイメージを学生に持たせる上では良い効果を与えていると評価を頂いた。しかし、新型コロナウイルスの影響で多くのセミナーが開催できなかった為、インターネット利用したオンラインセミナーの開催を検討するよう意見があった。

### 〈今後の取組等〉

インターネットを利用したオンラインセミナーの開催などを検討していきたいが校内の Wi-Fi 環境が整っておらず、早急な改善が必要に感じる。

#### (4) 学修成果

##### 〈評価及び意見〉

新型コロナウイルスの影響が続く中でも就職率や資格取得率、徐退学率の数字は前年度より改善されている。学校の適切なサポートの結果だと評価をいただいた。除退学率については金銭的なサポートが充実してきており、以前のような金銭的な事情による徐退学は減ったが、メンタル的な問題で除退学をしてしまいます学生が多くなっている。学校スタッフの負担が増えている大変な状況ではあることは理解できるが、さらなる学生サポートを行う必要があると意見をいただいた。

##### 〈今後の取組等〉

昨年度よりも就職活動や資格試験についてもインターネットを利用して行う機会が増えてきている。しかし、学校のインターネット環境があまり整っていない為、早期の環境改善に努める。

除退学についてもメンタル面で問題を抱えている学生に対しては引き続きカウンセリングの利用を勧めていく。

#### (5) 学生支援

##### 〈評価及び意見〉

国や県の修学支援制度や学園独自の修学支援など金銭面でのサポート体制を整えている点は評価をいただいた。しかし、新型コロナウイルスの影響で例年行っていた保護者の方を対象とした説明会を開催することが出来なかったため、今後はオンラインを活用した説明会の開催などを検討する必要があるとの意見をいただいた。また Wi-Fi などのネット環境の整備をしっかりと行うようにとの意見もあった。

また、人員不足の企業が多くある中、卒業生へのサポート体制の充実を図り、卒業生への就職先の紹介などもおこなう必要を感じる。

##### 〈今後の取組等〉

修学支援について知らない学生もいるため、学生への情報提供を含め金銭面でもサポートが出来るようにさらなる体制強化をすすめていく。時間も教員数も不足している中、教員だけでは問題解決が難しい状況となっている。学校と家庭の連携強化を引き続き行い、カウンセリングの実施も周知させていく。

## (6) 教育環境

### 〈評価及び意見〉

昨年度に続き避難訓練の実施など継続的な活動は評価をいただいた。しかし、校舎自体の経年劣化が多くみられ、改修・改善の必要性を感じるとの意見がでた。特にインターネット環境については早期の改善が必要と思われる。

### 〈今後の取組等〉

引き続き避難訓練の実施は行う予定である。校舎の改修についても各科、何が必要か検討をしていく。インターネット環境についても国や県のサポートも受けながらすすめていく。

## (7) 学生の受入れ募集

### 〈評価及び意見〉

本校の魅力や教育内容の説明をするパンフレットやその他の資料は分かりやすく作っており、良い評価をいただいた。少子化が進む中、進路決定が早期化している為、新型コロナウイルスの影響を考慮しながらになると思うが今後は中・小学校や外部施設への学校説明や出前授業など行ってはどうかとの意見がでた。

### 〈今後の取組等〉

様々な企業からイベントの依頼が来ることもあり、積極的な参加を検討していきたいが、新型コロナウイルスの影響も考えながらすすめていく。

## (8) 財務

### 〈評価及び意見〉

経理規程にもとづき会計監査をはじめ、適切に運用されている。財務情報に関しては、ホームページの「学校情報公開」の中で公開している。

### 〈今後の取組等〉

特になし。

## (9) 法令等の順守

### 〈評価及び意見〉

法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がされている。

### 〈今後の取組等〉

引き続き、コンプライアンスの強化を行っていく。

## (10) 社会貢献・地域貢献

### 〈評価及び意見〉

新型コロナウイルスの影響もあり地域貢献に多く関わる事が出来なかった為、今後は新たな関わり方を検討する必要があると意見があった。

### 〈今後の取組等〉

新型コロナウイルスの影響も考慮しながらになるが、継続してボランティア活動などの社会貢献・地域貢献を行っていく。

### — 学校関係者評価委員会総評 —

総合的にみると少子化が叫ばれる中での学生募集や新型コロナウイルスの影響が大きい中での就職率・資格取得率改善など良い結果を出している。しかし、現状に甘えることなくさらなる改善を行う必要も感じる。

また、現状維持だけではなく様々な外部企業と連携し新たな刺激が加わることでより高いレベルの教育を提供できる場としていただきたい。

昨年度に続き Wi-Fi などネット環境の整備がほとんど進んでいない為、早急な改善の必要を感じた。